

東証一部：証券コード3992

株式会社ニーズウェル

2021年9月期 第2四半期

決算説明資料

2021年5月12日



NeedsWell
Try & Innovation



1. 2021年9月期第2四半期 決算概況



2. 2021年9月期 業績予想



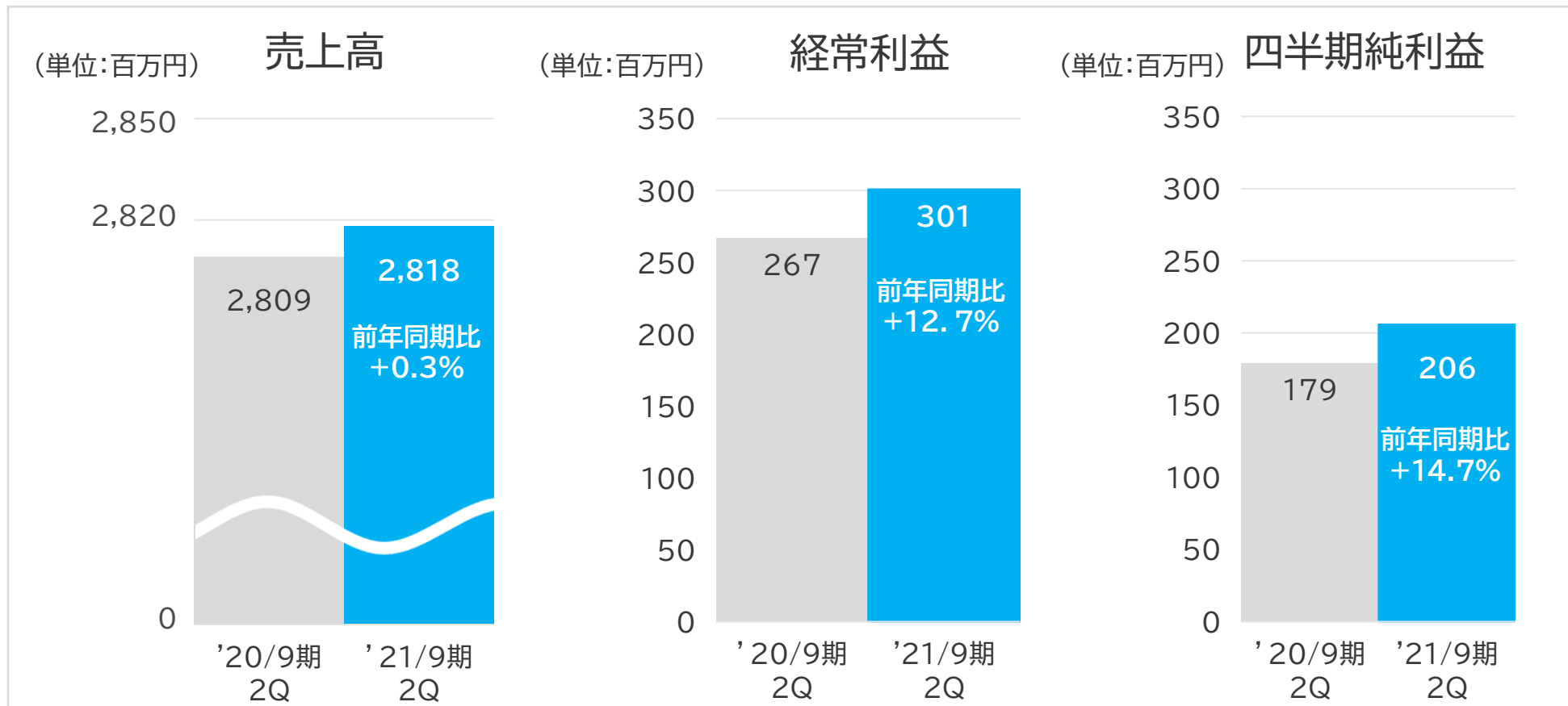
3. 成長戦略



4. 参考資料

1.1) 決算ハイライト

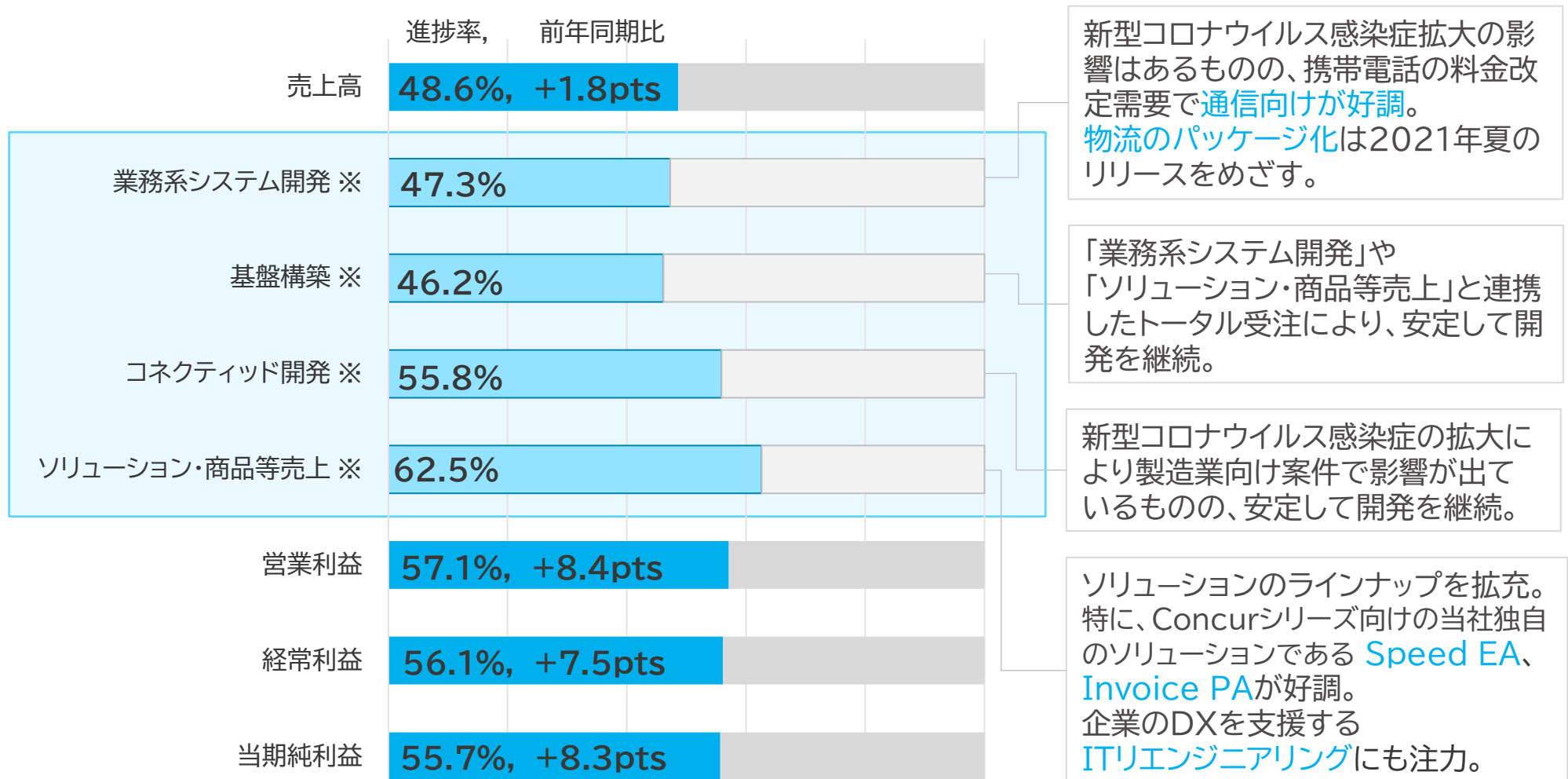
売上、利益とも第2四半期ベースで
1986年の**設立以来 最高額**を更新



1.2) 業績進捗率

売上は前年同期の進捗率を**1.8pts**上回る水準

利益は2Qで既に予想の**5割超**をクリア

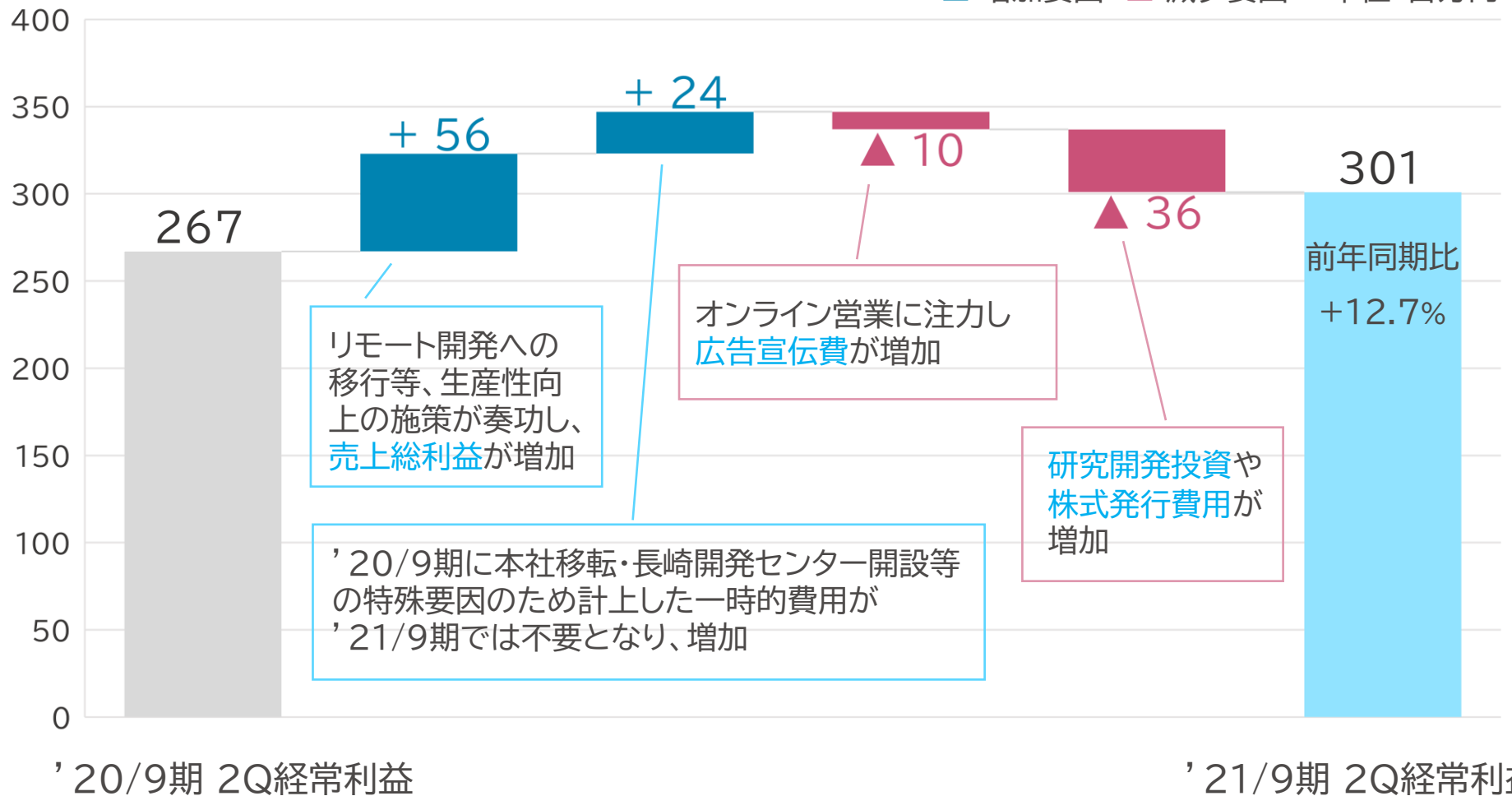


※ 当事業年度よりサービスラインを見直し再編成したため、前年同期との比較は行っておりません。

1.3) 経常利益増減要因分析

生産性向上による売上総利益の増加が貢献
 経常利益は前年同期比**12.7%増**↑

■ 増加要因 ■ 減少要因 単位:百万円



1.4) 損益計算書

経常利益率は**10.7%**(前年同期比**1.2pts増**)と高水準

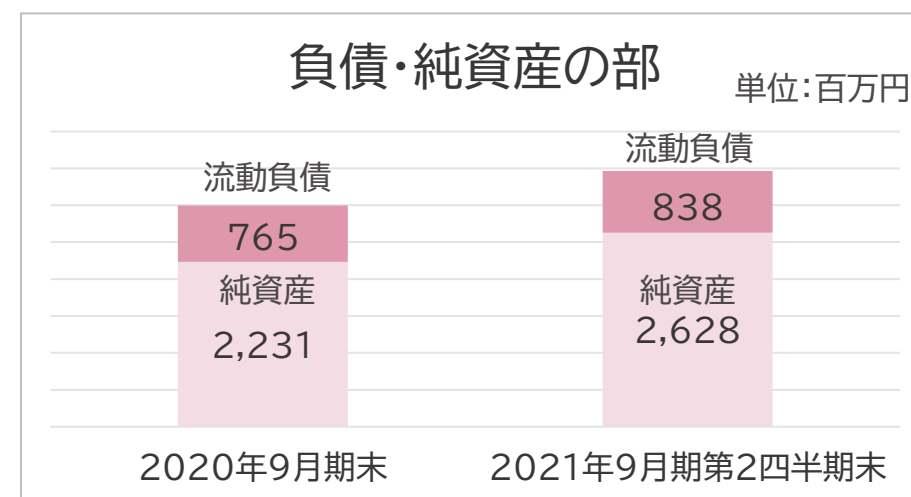
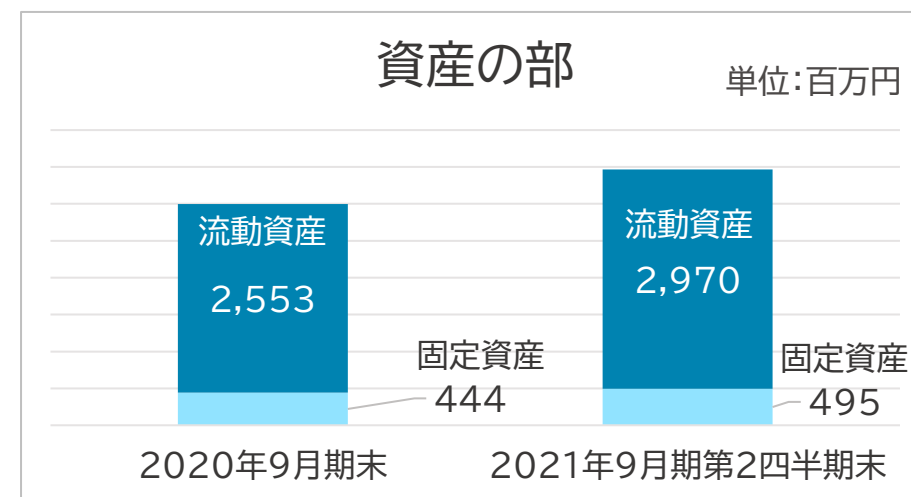
単位:百万円	2020年9月期第2四半期末		2021年9月期第2四半期末		
	実績	売上比	実績	売上比	前年比
売上高	2,809	-	2,818	-	100.3%
業務系システム開発	※	※	2,156	76.5%	※
基盤構築	※	※	283	10.1%	※
コネクティッド開発	※	※	100	3.6%	※
ソリューション・商品等	※	※	278	9.9%	※
売上総利益	653	23.3%	709	25.2%	108.6%
販管費	386	13.7%	403	14.3%	104.4%
一時的費用(先行投資)	24	0.9%	0	0.0%	0.0%
その他	361	12.9%	403	14.3%	111.6%
営業利益	267	9.5%	306	10.9%	114.8%
営業外収益	0	0.0%	2	0.1%	5448.1%
営業外費用	0	0.0%	7	0.3%	6178.9%
経常利益	267	9.5%	301	10.7%	112.7%
当期純利益	179	6.4%	206	7.3%	114.7%

※ 当事業年度よりサービスラインを見直し再編成したため、前年同期との比較は行っておりません。

1.5) 貸借対照表

※主要科目のみ抜粋 単位:百万円	2020年9月期末	2021年9月期第2四半期末	
	実績	実績	前期末増減
現金及び預金	1,780	2,038	258
売掛金	689	871	181
前払費用	34	45	11
流動資産合計	2,553	2,970	417
ソフトウェア	58	65	6
投資有価証券	83	111	28
繰延税金資産	97	115	18
敷金・保証金	85	84	0
保険積立金	76	76	0
固定資産合計	444	495	51
資産合計	2,997	3,466	468
買掛金	101	146	44
未払金	137	132	-5
未払法人税等	107	130	22
未払消費税	106	74	-31
賞与引当金	265	306	40
流動負債合計	765	838	72
固定負債合計	0	0	0
負債合計	765	838	72
資本金	415	578	163
資本準備金	271	435	163
繰越利益剰余金	1,521	1,591	70
その他有価証券評価差額金	22	18	-4
純資産合計	2,231	2,628	396
負債純資産合計	2,997	3,466	468

自己資本比率 **75.7%**
前期末比 **1.2pts 増**





1. 2021年9月期第2四半期 決算概況



2. 2021年9月期 業績予想



3. 成長戦略

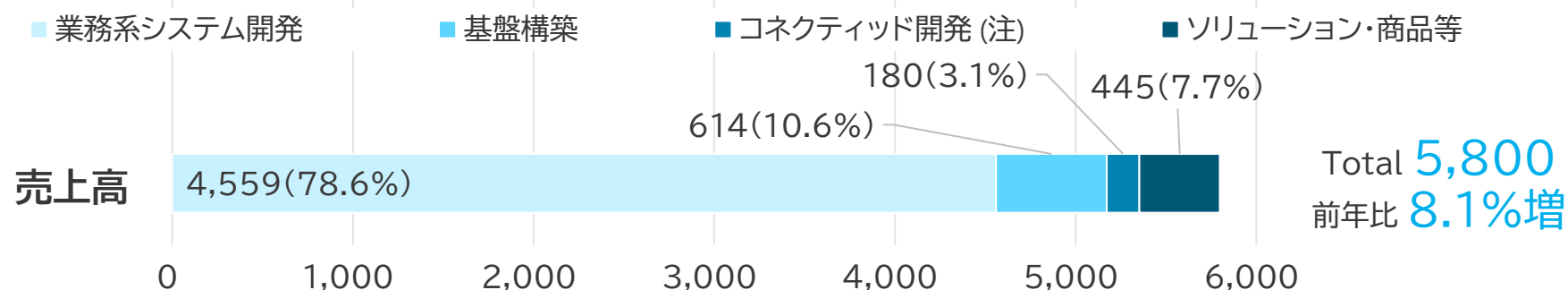


4. 参考資料

2.1) 2021年9月期 業績予想

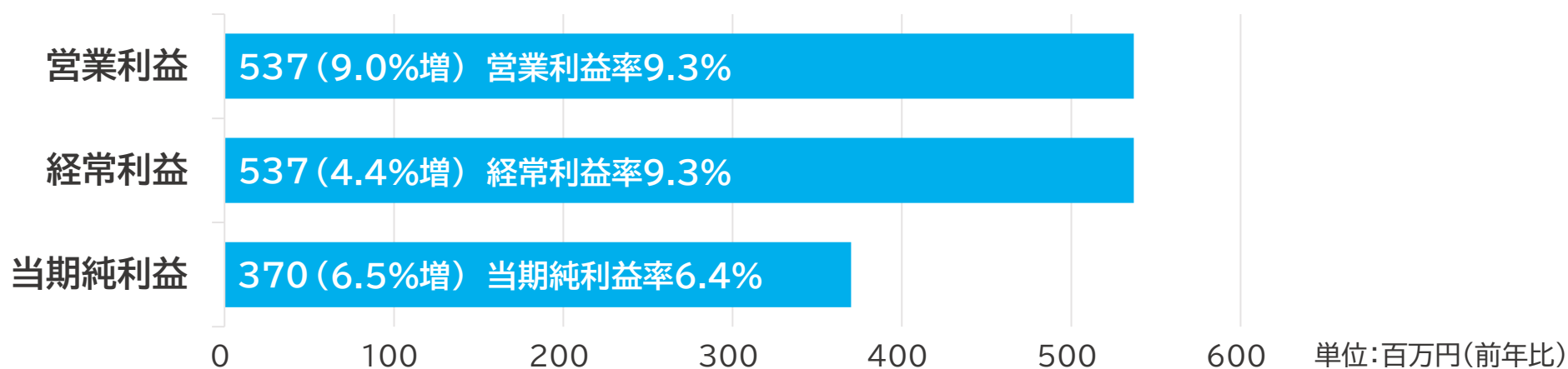
新たに参入した物流ビジネスやソリューション強化等により
増収増益を予定

※2020年11月12日発表の業績予想から変更ありません



単位:百万円(対売上高構成比率)

(注) 2021年9月期より、コネクティッド技術の強化のために「コネクティッド開発」を新設するとともに、全サービスラインを再編成しました。このため、サービスライン毎の前期比較は行っておりません。

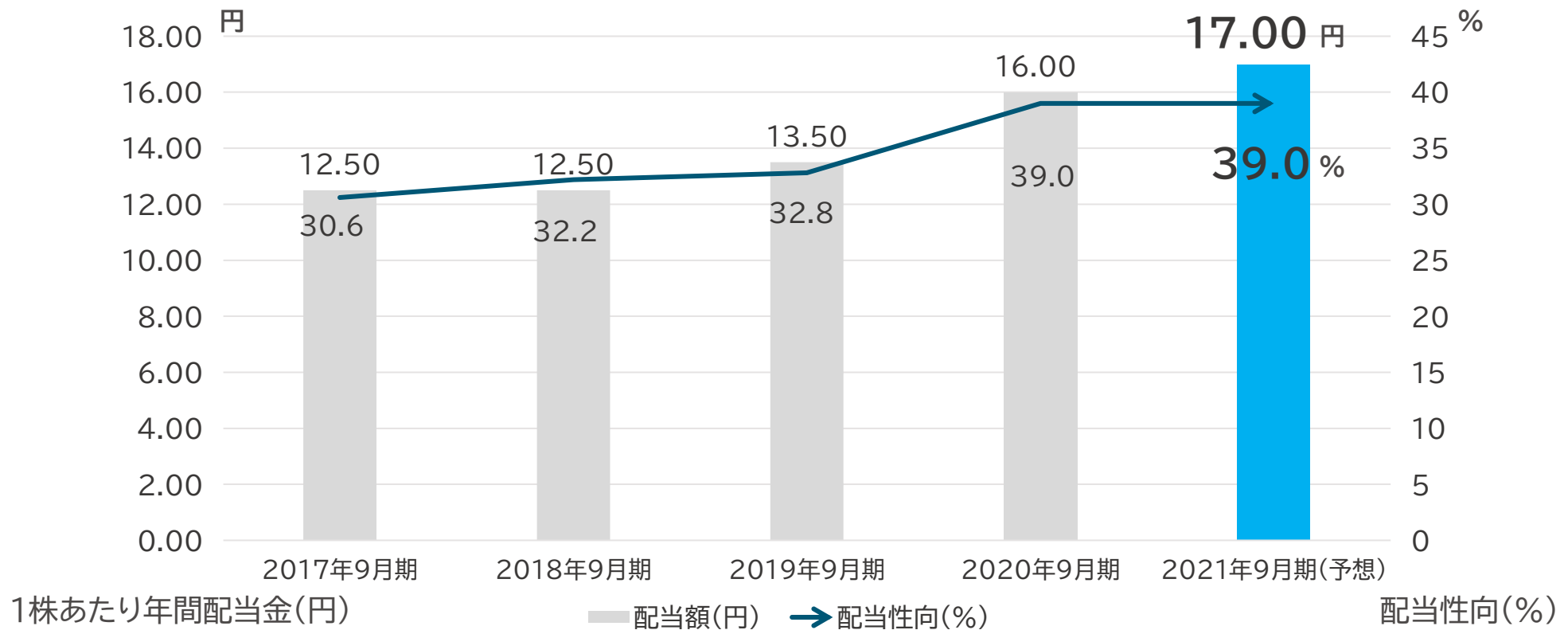


2.2) 配当と株主還元

1株当たり配当金 前年比 **+1円** 増配予定(2021年9月期)

※2020年11月12日発表の配当予想から変更ありません

年間配当予想 17円00銭/株 配当性向予想 39.0%



※ 2017年5月12日付で1株につき100株の割合で株式分割、2018年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割、2019年1月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。過去の1株当たり年間配当額は、当該株式分割を考慮して算出しております。



1. 2021年9月期第2四半期 決算概況



2. 2021年9月期 業績予想




3. 成長戦略



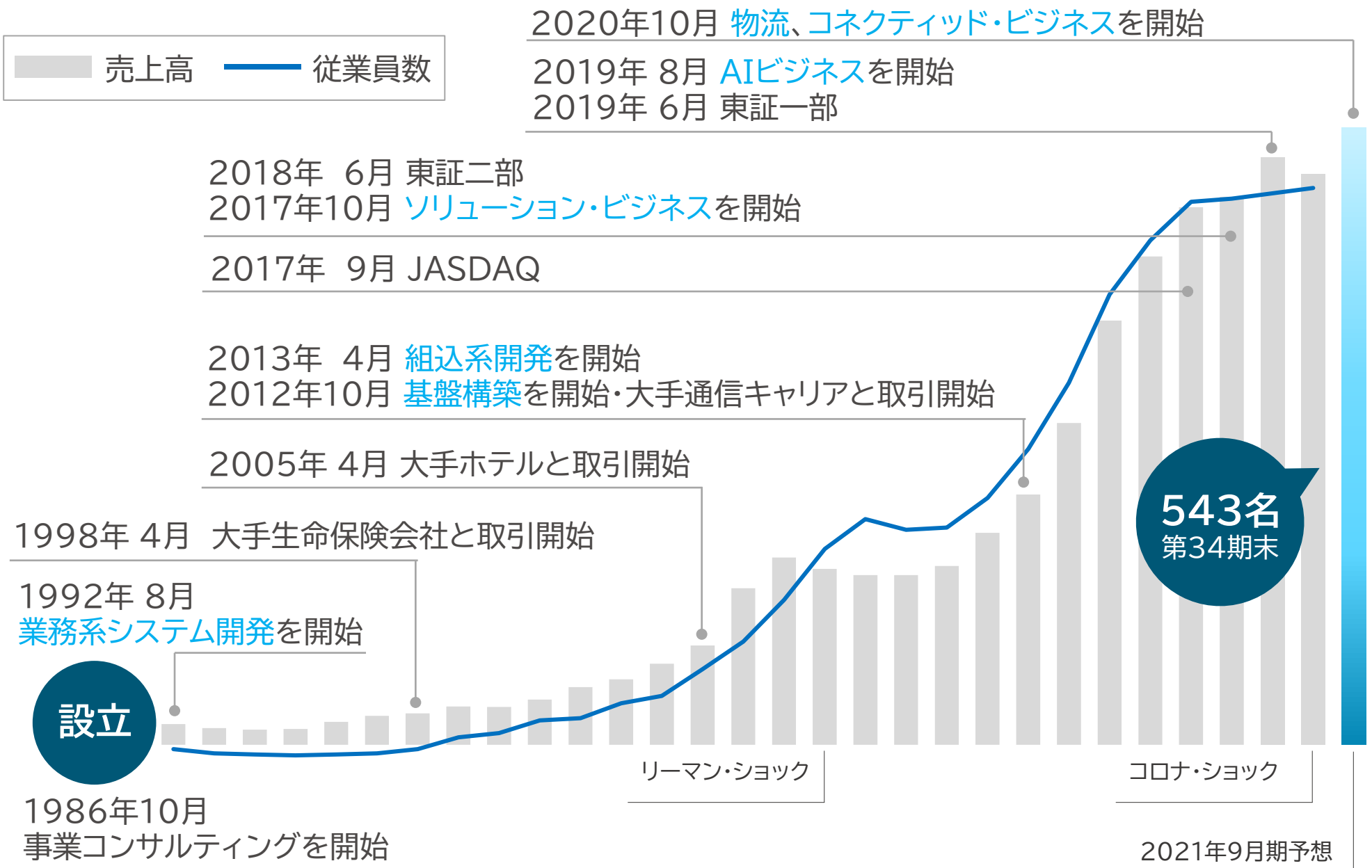
4. 参考資料

3.1) 経営理念

An aerial photograph of a park area. A large, vibrant green tree with yellow-green foliage is the central focus. The surrounding area consists of paved walkways and green grass. Several people are visible, some walking and some sitting on the grass. The overall scene is bright and sunny.

広く経済社会に貢献し続ける

3.2) 成長の軌跡



3.3) 中期基本方針

派遣型ビジネスからの脱却、

そして**真のシステムインテグレータ**へ

3.4) 3つの強み

金融系システム 開発力

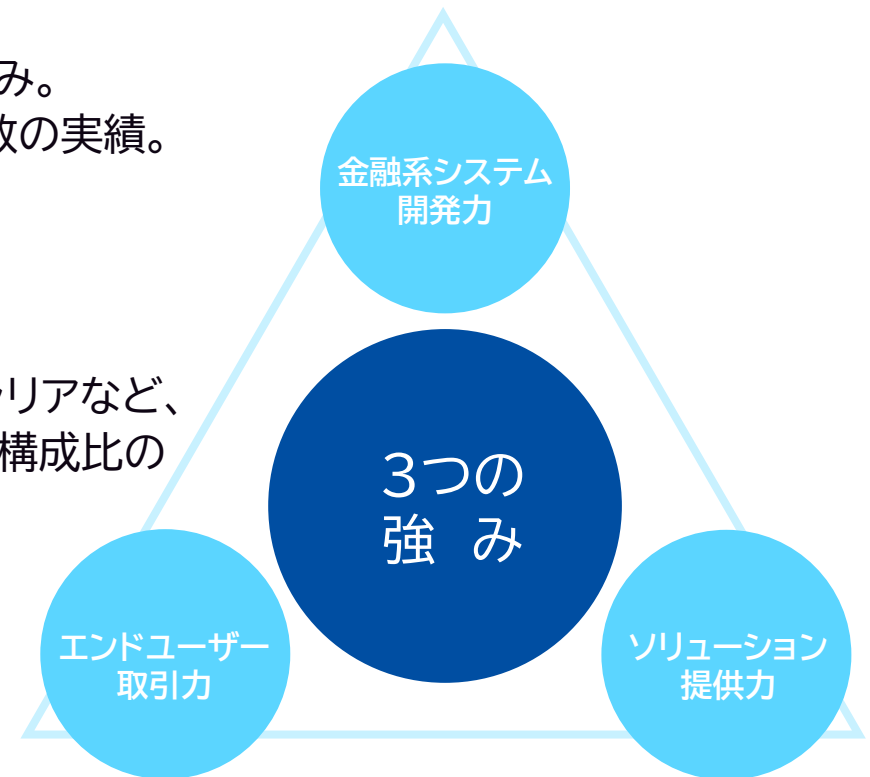
主力の業務系システム開発では金融系が売上高の50%。
中でも**生命保険・損害保険分野**に強み。
銀行・クレジットカード・証券でも多数の実績。

エンドユーザー 取引力

生命保険会社・大手ホテル・通信キャリアなど、
エンドユーザーとの直接取引が売上構成比の**50%超**と高水準。

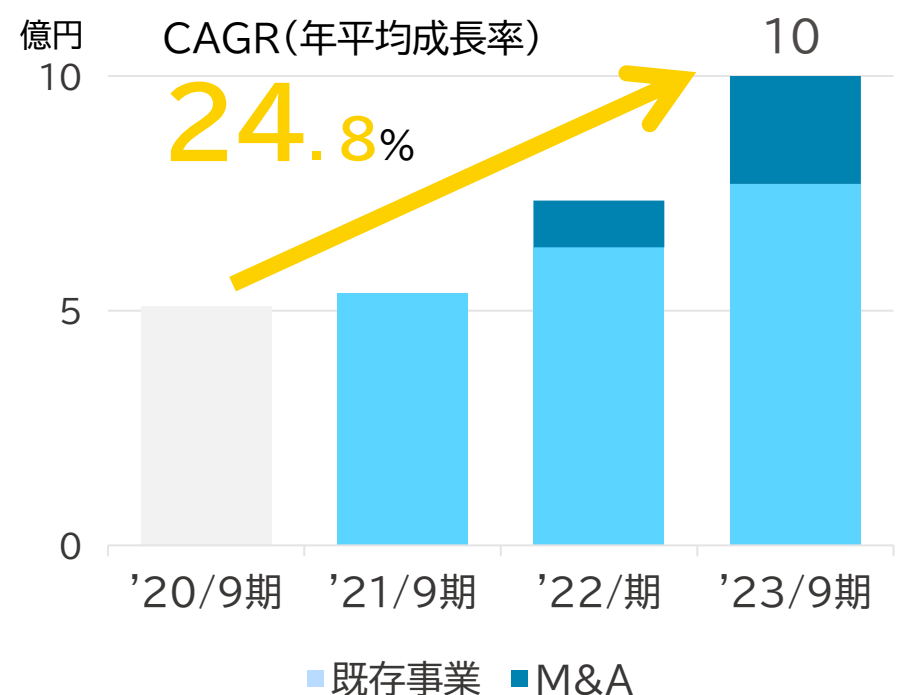
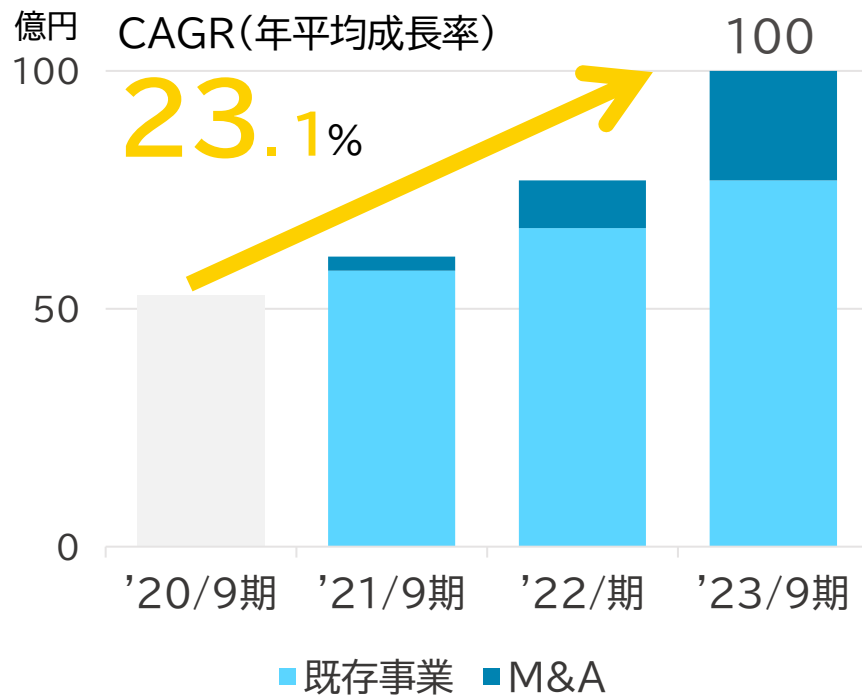
ソリューション 提供力

5G関連、AI、RPA、テレワーク
など、顧客のビジネスの目的に
合わせた最適なソリューションサービスを提供。



3.5) 中期経営計画 ①業績目標

2023年9月期



3.5) 中期経営計画 ②売上拡大

市場規模(当社予測)

物流IoTソフトソリューション市場
(WMS等)
2025年 1,230億円
↑
2018年 667億円

スマートシティ市場
2022年 9,900億円
↑
2018年 4,600億円

AI主要市場 ※
2023年 640億円
↑
2018年 196億円

物流ビジネス

多様化するニーズが高まる一方、担い手不足が深刻な物流業界。AIやIoTを活用した合理化・高品質化・環境負荷低減が急務で投資需要高い。

コネクティッド・ビジネス

IoTやAIの活用で街全体を効率化し便利に住みやすくするスマートシティ等、生活を豊かにするコネクティッド技術にも取り組む。

ソリューション・ビジネス

DXへの構造改革で投資需要高い。AI、RPAを活用した連携機能等で独自に差別化した製品を投入。

M&A

既存技術の規模拡大と、新規技術の補強・参入。物流、コネクティッド、AI、IoT、Web等を重点的に探索

+12億円

+3億円

+9億円

+23億円

既存事業

24億円

M & A

23億円

100億円

2023年
9月期

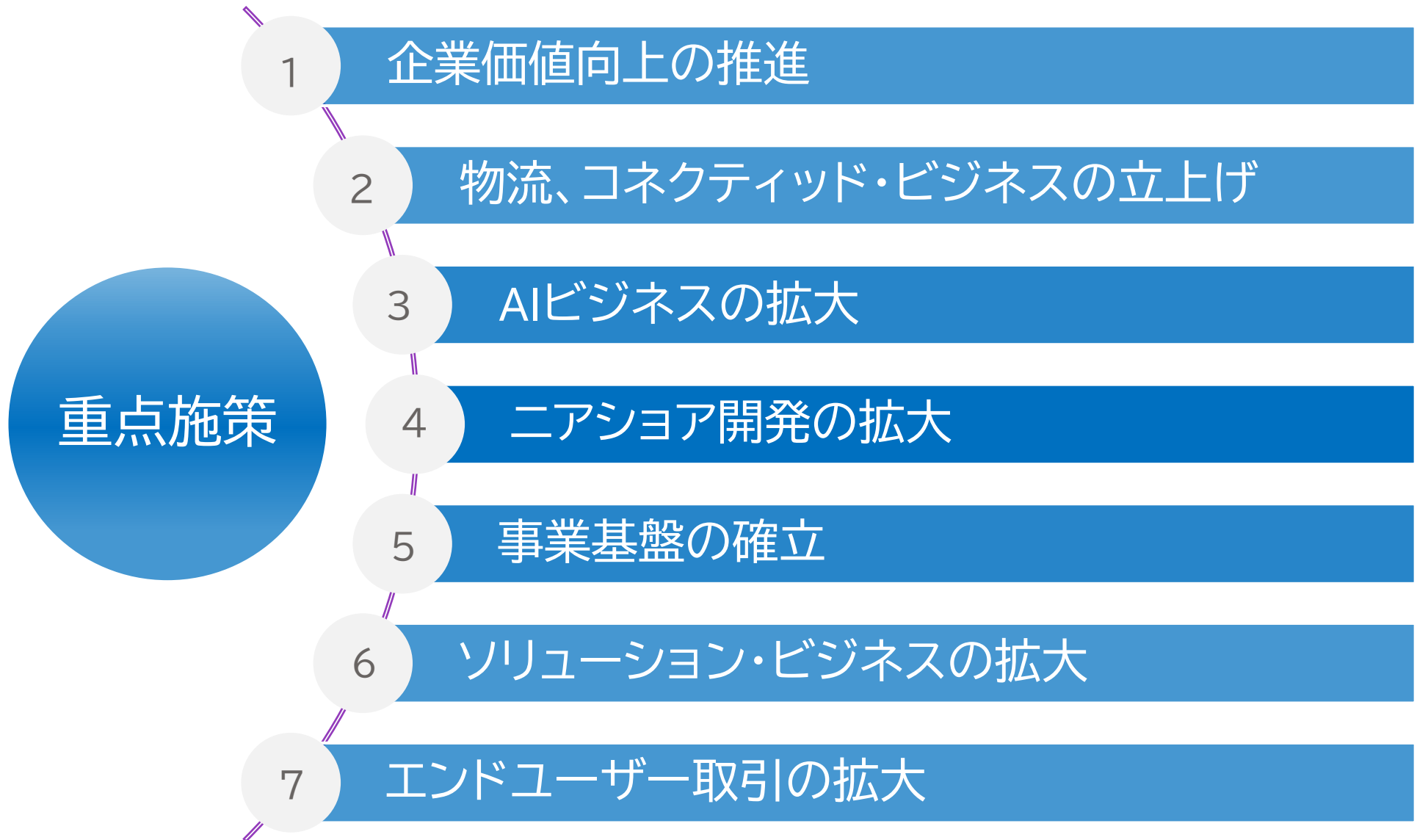
売上拡大

+47億円

53億円
2020年
9月期

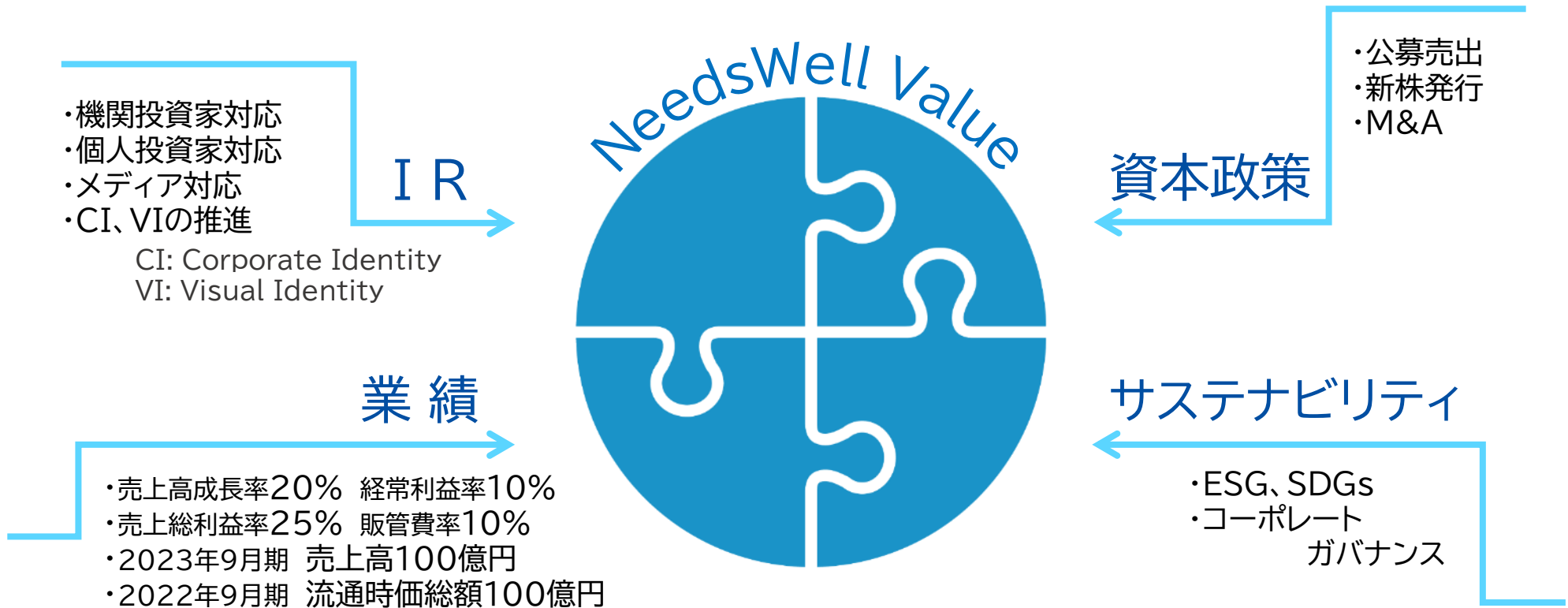
※ AI主要市場：画像認識、音声認識、音声合成、言語解析、検索・探索、翻訳

3.6) 重点項目



3.6) 重点項目 ①企業価値向上の推進

NeedsWell Valueの向上により
経営理念「広く経済社会に貢献し続ける」を推進

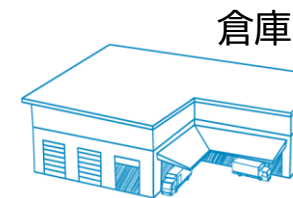


3.6) 重点項目 ②物流、コネクティッドビジネスの立上げ

物流 ▶▶▶ ネット社会によりニーズが高まる一方、担い手不足が深刻
→ システム開発需要が増加

WMS(倉庫管理システム)のパッケージ化

2021年夏 リリース予定



WMS(倉庫管理システム)
AGVやWCS(倉庫制御システム)と
最適な連携を実現



コネクティッド ▶▶▶ 従来の組込系開発に加え、
データ集積・活用のコネクティッド分野に参入
自動運転、医療でスマートシティの構築へ貢献

開発事例: 医療

- ・エコー装置(超音波診断機器)の画像分析プログラム
- ・血液や尿などの成分を読み取った大量の分析データを収集し、分析結果を映像で表示するプログラム

開発事例: 自動運転

- ・レーダーやセンサーの画像データから物体、人体を認識し自力走行するためのハンドル、ブレーキ等の制御プログラム
- ・災害拠点にてレーダーやセンサーの情報を解析地図情報との比較で最適な経路を算出し自動的に車を移動させる装置の制御プログラム

3.6) 重点項目 ③AIビジネスの立上げ

Work AI のラインナップ拡充によりAIビジネスを拡大



AIリモート教育

ビジネスシーンのトークを数値やグラフで定量的に見える化。
成績上位者のモデルと比較してAIで改善点をフィードバック。

AI連携、AI-OCR連携、RPA連携等のノウハウを活用し、
2025年の崖を乗り越えるソリューションを提案

さまざまな業種のDXを推進



3.6) 重点項目 ④ニアシヨア開発の拡大

2024年9月期 長崎開発センター100名体制をめざす

ニアシヨア拠点の活用で優秀な人材の獲得と人材不足の解消

人材獲得

- ・ 地元志向の強い優秀な技術者を採用し育成
 地元大学からの採用
 Uターン、Iターン採用

ニアシヨア活用

- ・ 持ち帰り案件受注によるニアシヨア開発体制の拡大
- ・ 派遣型・常駐型からの移行を進め、
 ニアシヨア開発を標準化



3.6) 重点項目 ⑤事業基盤の確立

上場企業として
将来まで安定した発展を遂げる事業基盤を確立

業務系システム開発

- ・ 業務知識の蓄積とハイスキルの技術者の育成により、金融分野を拡大
- ・ 新たに物流分野を開拓

基盤構築

- ・ 業務系システム開発と連携しトータル受注

コネクティッド開発

- ・ 自動車、医療機器分野に加えコネクティッド技術を強化

▶▶▶ サービスライン構成

事業基盤を確立する
サービスライン

業務系システム開発

基盤構築

コネクティッド開発

+

事業拡大・付加価値向上を
加速するサービスライン

ソリューション・
商品等売上

3.6) 重点項目 ⑥ソリューションビジネスの拡大

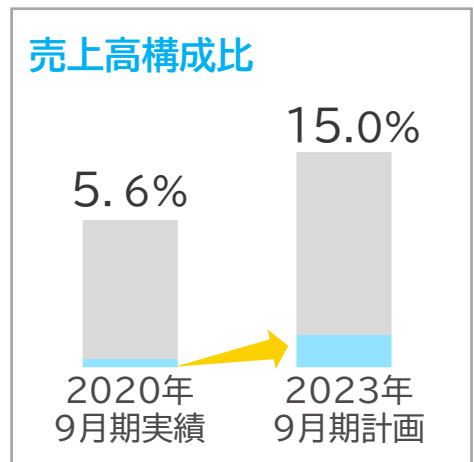
事業拡大・付加価値向上を加速する ソリューション・ビジネスを拡大

拡大戦略

- ・他社ソリューションにAI、RPA等を活用したニーズウェル独自の連携機能を付加。
- ・物流ビジネスで開発するWMS(倉庫管理システム)をパッケージ化し物流業界向けソリューションとして2021年夏のリリースを予定。
- ・顧客ニーズ及びマーケットのトレンドを踏まえ、将来を見据えた先端技術をいち早く取り込む研究開発を継続。

✓ 2021年5月

- ・DX支援を強化するため、専門チームを新設。
- ・ITエンジニアリングサービスにより社内システムの効率化、DX化を支援。



業務効率化ソリューション
ITエンジニアリングサービス
運用改善コンサルティング データ連携システム構築

社内システム、
もっと便利に使いませんか？

3.6) 重点項目 ⑦エンドユーザー取引の拡大

受注安定化と収益性向上

エンドユーザー比率**50%超**を維持拡大

既存ユーザーの維持拡大

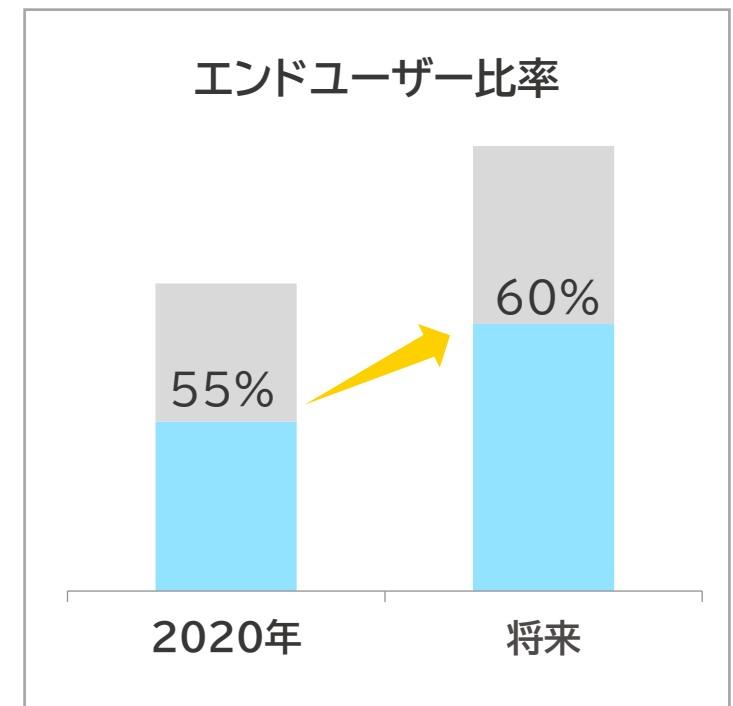
- ・ 継続案件の確保
- ・ ハイスキルの技術者を育成し担当分野の規模を拡大
- ・ 担当分野以外の開拓

新規ユーザーの開拓

- ・ 既存ユーザーと類似する会社へ開発実績、業務ノウハウを紹介し横展開

ソリューション・ビジネスの拡大

- ・ エンドユーザーへの販売比率が高いソリューション・ビジネスに注力



3.7) ESG・SDGs ①事業と直結する取組み

ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略で**サステナブル経営**をめざす

ニアショア開発促進:長崎開発センターを2024年までに100名体制に

~ニアショアを活用したリモート開発体制でQCD(Quality:品質、Cost:費用、Delivery:納期)にコミットメントし、開発を促進

2024年までに長崎開発センター100人体制を目指す
地方の優秀な人材の活用で**産業基盤と技術革新、雇用の創出**による豊かな街づくりに貢献



DXをアシストする新たなソリューションの開発

AI技術を利用したプラットフォームの構築、システムの提供、データ分析、RPA連携で実現する作業の省力化等により、顧客企業が「2025年の崖」を乗り越えるDXの実現・推進をアシスト
デジタル社会の産業基盤の構築に貢献

パートナー企業との協働

受注先、仕入先の企業とのパートナーシップを推し進め、ともに永く発展できる体制をめざす

2020年02月: 株式会社アイティフォーと**資本業務提携契約**を締結

2020年03月: 明治安田生命保険相互会社、明治安田システム・テクノロジー株式会社と**コアパートナー契約**を締結

2020年12月: 株式会社物流革命、株式会社オフィスエフエイ・コムと**物流分野で協業**を開始

2021年03月: 株式会社総研システムズと**資本業務提携契約**を締結



3.7) ESG・SDGs ②制度や支援活動から支える取組み

働き方改革・人材育成

- ・有給取得奨励日、プレミアムフライデー、残業目標20時間以内
- ・テレワークの対象者を拡大
- ・スキルやモチベーションを引き出す制度

女性社員・管理職比率向上

女性管理職比率目標30%、女性社員比率目標30%

学生向けAI教育

学生向けにAIプログラミング体験や、5日間・3週間のインターンシップを開催
電子申請アプリやAIチャットボットのプログラミング教育を実施(2020年)

長崎県ふるさと納税

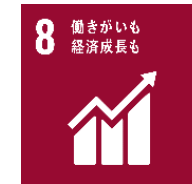
長崎県立大学において産学連携の拠点を整備し高度専門人材の育成と県内産業の振興をめざす「Society5.0へ向けた次世代人材創造プロジェクト」(企業版ふるさと納税制度)を支援

サッカーJリーグ V・ファーレン長崎を応援

スポーツ文化の振興、地域の活性化を目指しサポーターとしてスポンサー契約

その他の取組みや詳細はこちらからご覧いただけます。

<https://www.needswell.com/ir/sdgs>





1. 2021年9月期第2四半期 決算概況



2. 2021年9月期 業績予想



3. 成長戦略



4. 参考資料

4.1) 会社概要

商号	株式会社ニーズウェル Needs Well Inc.		
本社	東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニガーデンコート13階		
事業所	■ 新宿オフィス:東京都新宿区富久町13-15 サウスタワー5階 ■ 長崎オフィス:長崎県長崎市興善町2-21 明治安田生命長崎興善町ビル5階		
連絡先	TEL:03-6265-6763(代) FAX:03-6265-6764		
代表者	代表取締役社長 船津 浩三		
設立年月	1986年10月	上場市場	東証一部(証券コード:3992)
資本金	5億78百万円 2021年3月	売上高	53億64百万円 2020年9月
従業員数	565名 2021年4月	決算期	9月
資格	労働者派遣事業 プライバシーマーク使用許諾認定	ISO27001(ISMS)認証 ISO9001(QMS)認証	
役員 2020年12月	代表取締役社長 船津 浩三	取締役 柳川 洋輝	<input type="checkbox"/> 社外 <input type="checkbox"/> 独立
	取締役専務執行役員 後藤 伸応	取締役 坂上 秀昭	<input type="checkbox"/> 社外 <input type="checkbox"/> 独立
	取締役常務執行役員 塚田 剛		
	取締役執行役員 木村ひろみ	監査役 加藤 和彦	
	取締役執行役員 秋山 恵穂	監査役 丹羽厚太郎	<input type="checkbox"/> 社外 <input type="checkbox"/> 独立
	取締役執行役員 篠原 和広	監査役 安岡 護	<input type="checkbox"/> 社外 <input type="checkbox"/> 独立

4.2) 事業領域

ニーズウェルは**金融**向けの**業務系システム開発**を中心とした4つのサービスで、ITのトータルサービスを提供しています。

金融 (業務系システム開発)

コネクティッド
(コネクティッド開発)



ソリューション
(ソリューション・ビジネス)



AI
(ソリューション・ビジネス)

IT基盤 (基盤構築)



Try & Innovation
NeedsWell



Web
(業務系システム開発)

流通・サービス
(業務系システム開発)



社会インフラ
(業務系システム開発)



物流 (業務系システム開発)

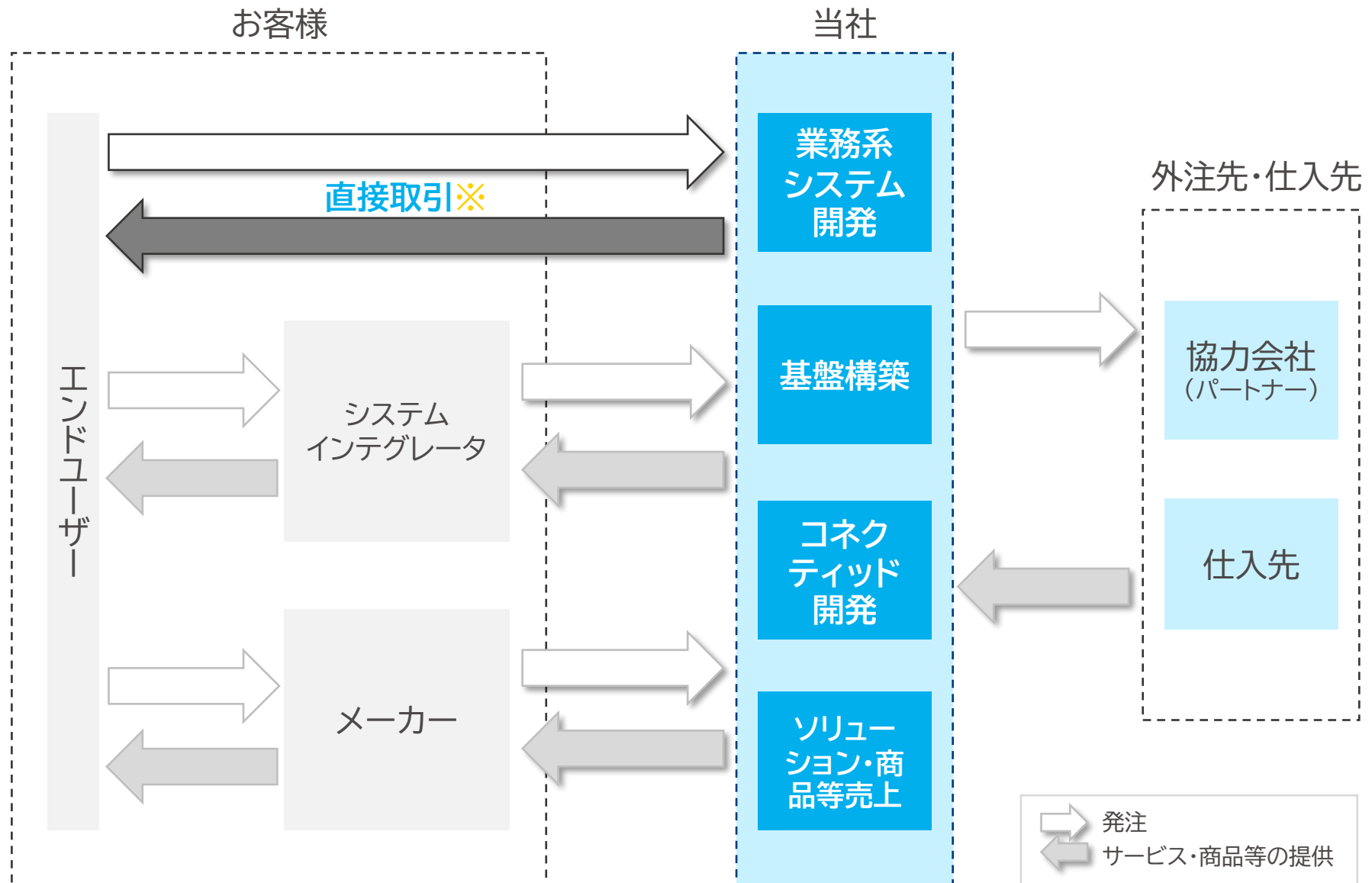


通信キャリア (業務系システム開発)



DX
(業務系システム開発)

4.3) 事業系統図



※エンドユーザーとの直接取引 は売上全体の 約55% と高水準

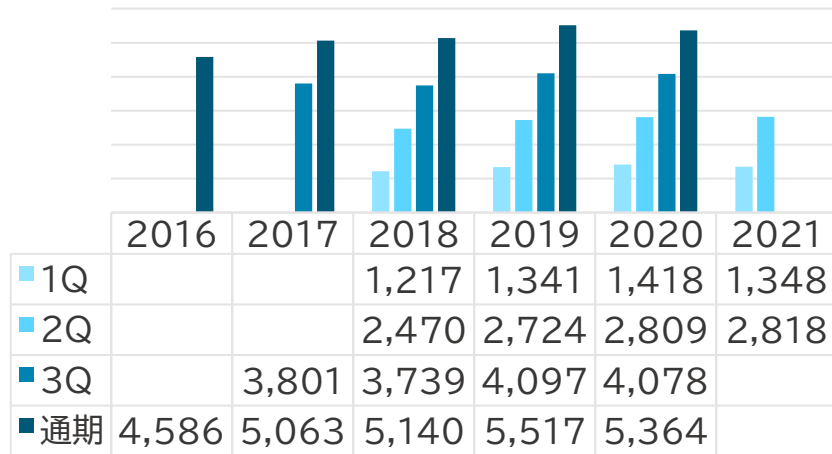
4.4) 主なプレスリリース

日付	種類	内容
2021/05/12	有 報	2021年9月期第2四半期 有価証券報告書
2021/05/12	適時開示	2021年9月期第2四半期 決算短信
2021/05/12	IR資料	2021年9月期第2四半期 決算説明資料
2021/05/06	適時開示	<u>第三者割当による第5回新株予約権(行使価額修正条項付新株予約権(停止指定条項付))の月間行使状況に関するお知らせ</u>
2021/04/20	PR情報	<u>データとデジタル技術の活用でデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進を支援する専門チームを新設</u>
2021/04/01	適時開示	<u>第三者割当による第5回新株予約権(行使価額修正条項付新株予約権(停止指定条項付))の月間行使状況に関するお知らせ</u>
2021/03/29	PR情報	<u>クラウド型ID管理・統合認証サービス(IDaaS)「Okta」の提供を開始</u>
2021/03/15	PR情報	<u>株式会社総研システムズとの資本業務提携のお知らせ</u>
2021/03/15	PR情報	<u>組織変更並びに役員の担当変更及び人事異動に関するお知らせ</u>
2021/03/01	適時開示	<u>第三者割当による第5回新株予約権(行使価額修正条項付新株予約権(停止指定条項付))の月間行使状況に関するお知らせ</u>
2021/02/22	適時開示	<u>第三者割当による第5回新株予約権(行使価額修正条項付新株予約権(停止指定条項付))の大量行使に関するお知らせ</u>
2021/02/19	PR情報	<u>WinActorとTeamsの連携で業務を自動化、ロボットとの働き方を提案</u>
2021/02/09	PR情報	<u>Concur Japan Partner Award 2021でインプリメンテーションパートナーアワードを受賞</u>

4.5) 業績推移①

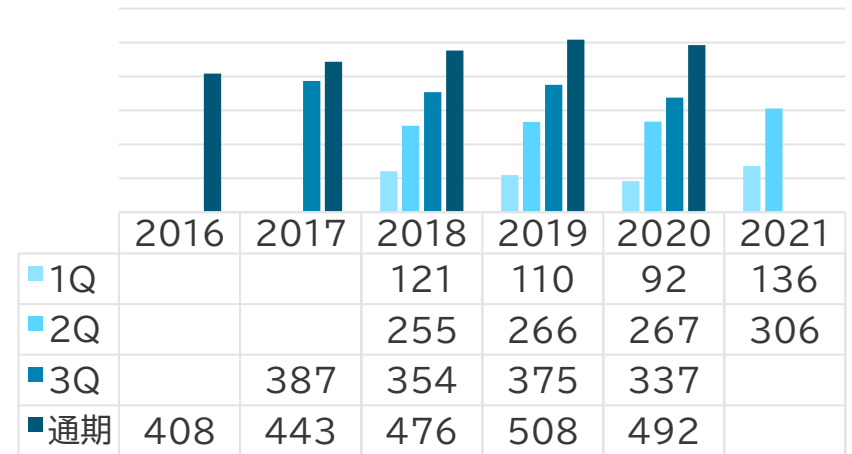
売上高

単位:百万円



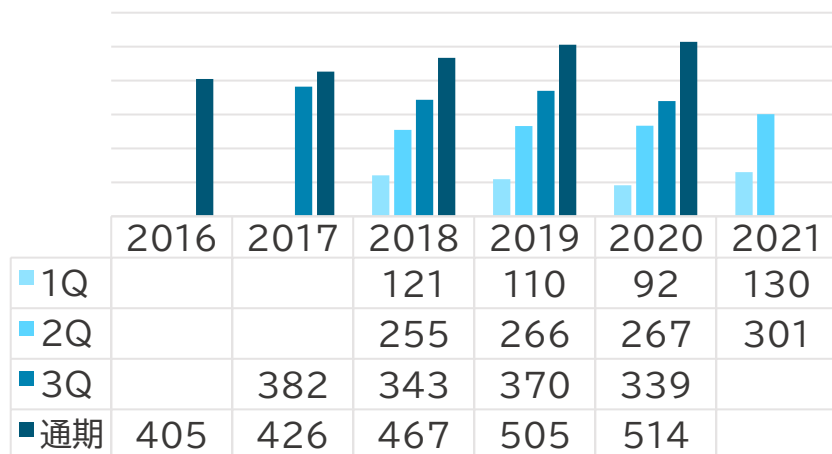
営業利益

単位:百万円



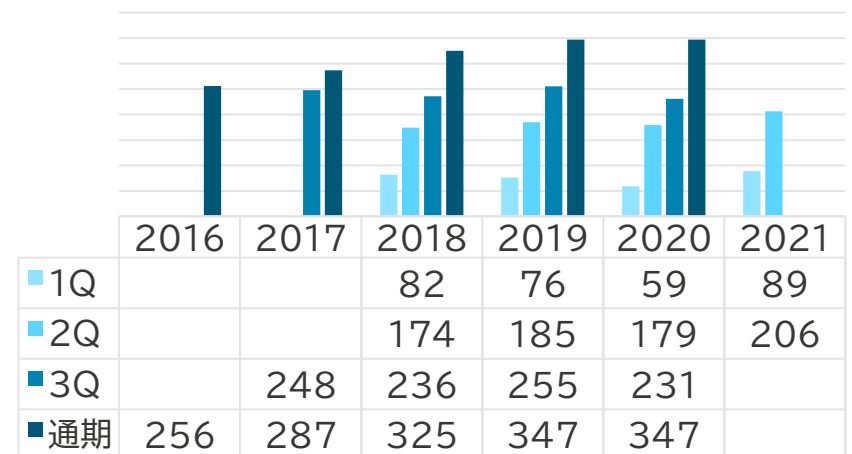
経常利益

単位:百万円



当期純利益

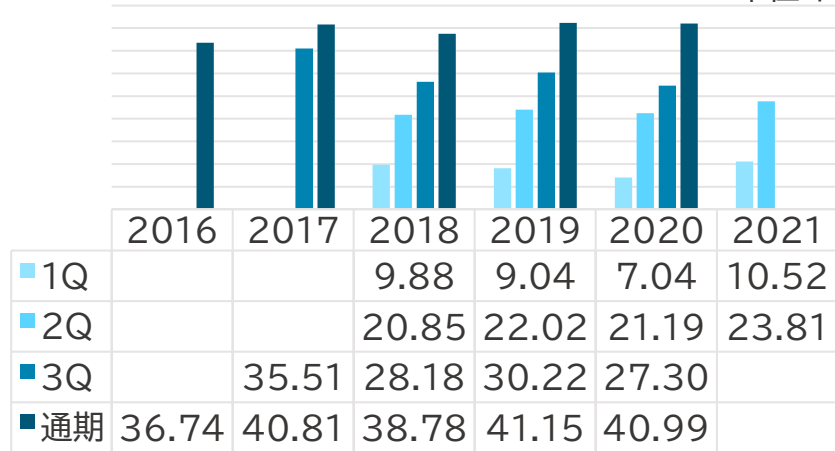
単位:百万円



4.5) 業績推移②

1株当たり当期純利益

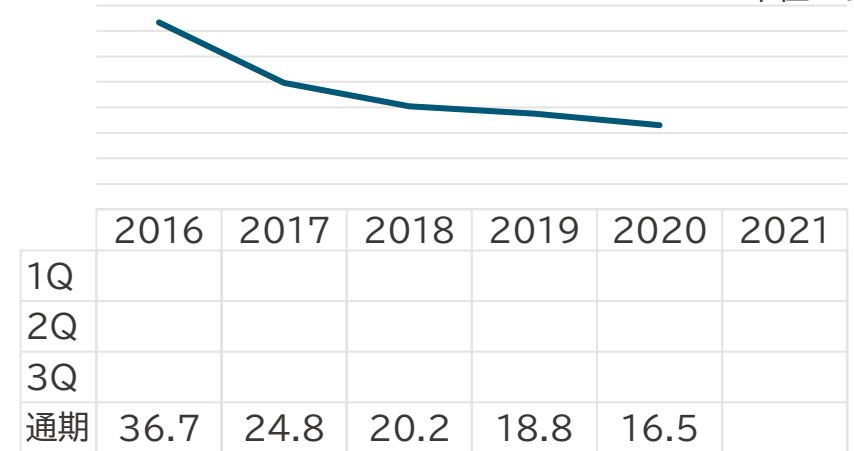
単位:円



■2017年5月12日付の100分割、2018年4月1日付の2分割、2019年1月1日付の2分割調整後の数値

自己資本当期純利益率

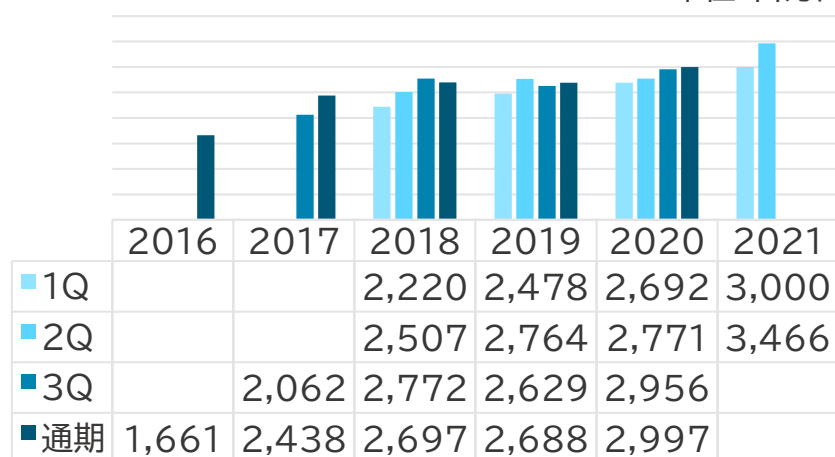
単位:%



■本指標は通期ごとに更新

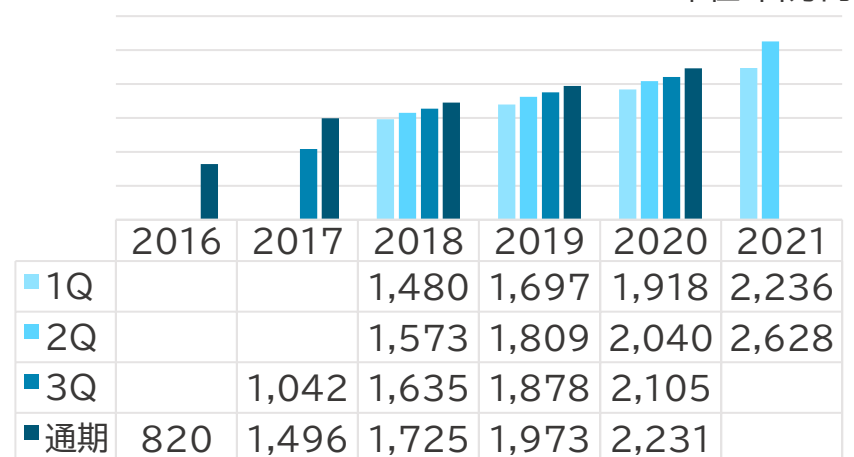
総資産

単位:百万円



純資産

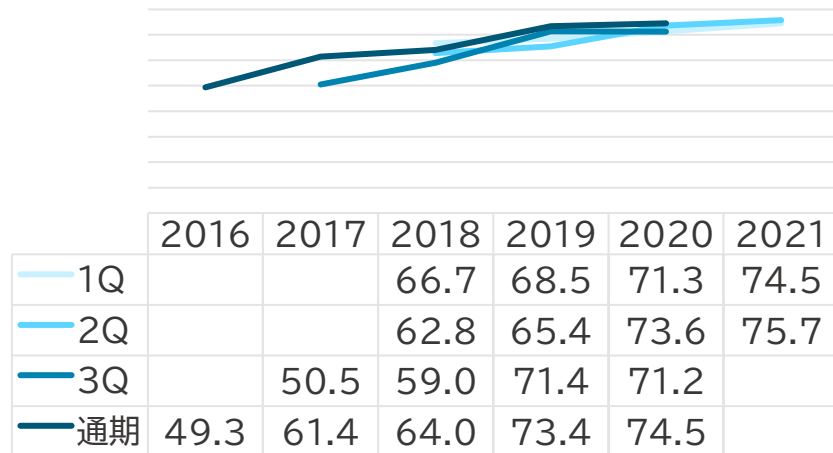
単位:百万円



4.5) 業績推移③

自己資本比率

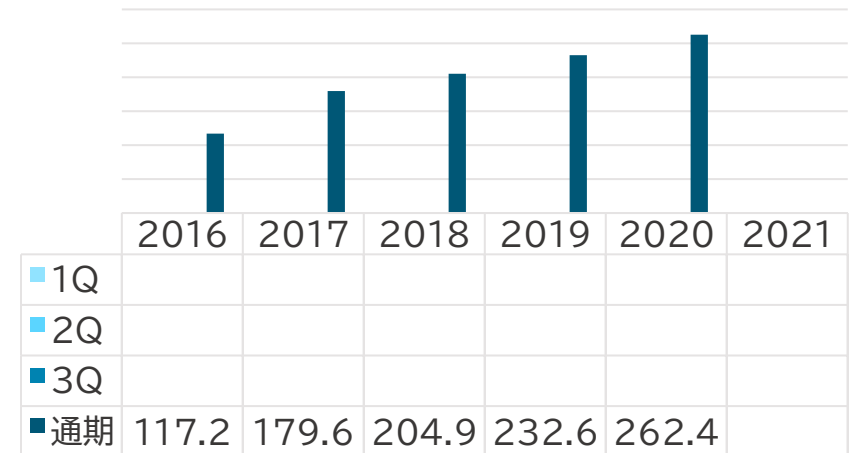
単位:%



- 第2四半期(2Q)は、第1四半期から第2四半期までの累計情報
- 第3四半期(3Q)は、第1四半期から第3四半期までの累計情報

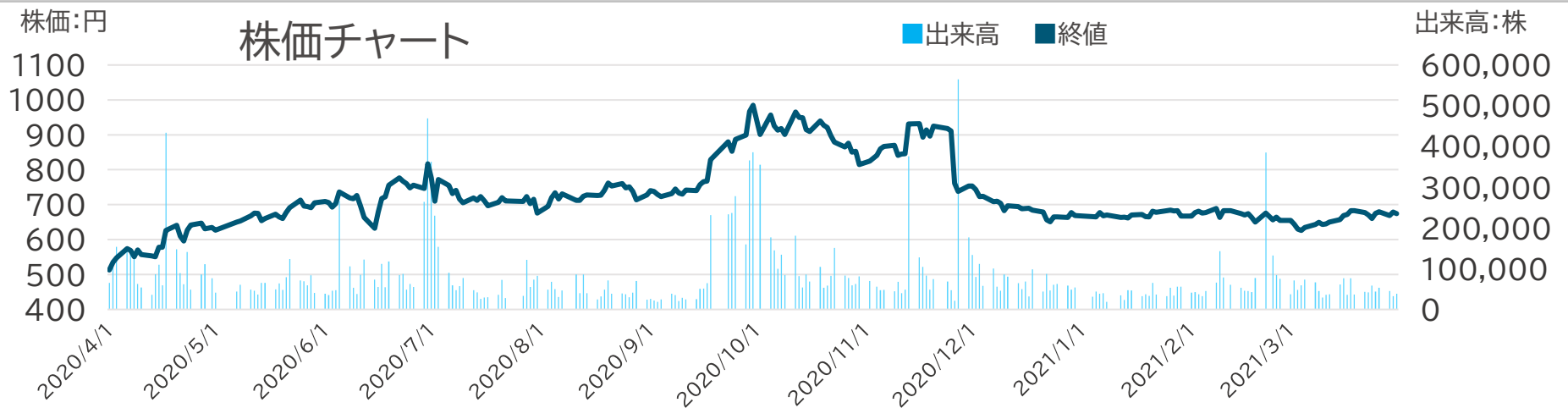
1株当たり純資産

単位:円



- 2017年5月12日付の100分割、2018年4月1日付の2分割、2019年1月1日付の2分割調整後の数値
- 本指標は通期ごとに更新

株価チャート





NeedsWell
Try & Innovation

- 本資料に記載されている将来の業績に関する予想、計画、戦略などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。
- 実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

CC室 TEL:03-6265-6763(代) e-mail:ir-contact@needswell.com